



【24年12月以降の当社の取り組み】

① 新庄市の『**ゼロカーボンシティ宣言**』にあわせ

- ・12月1日より、新庄市立小中学校・義務教育学校へCO₂フリー電力を供給開始し、電気分野でのゼロカーボン化を実践しました。
- ・新庄市立日新小学校6年生に**環境教育を実施**。



「SDGsとエネルギー」と題し、県内で発電されている再エネ電気とSDGsの関係をお話ししました。

② 山形県等が主催の「脱炭素経営セミナー」（会場：鶴岡市、山形市）で『CO₂フリー電力による脱炭素推進』と題して事例を発表し、CO₂フリー電力の利用で手軽に脱炭素経営ができる方法を紹介しました。

③ 酒田市の電力地産地消事業にかかるプロポーザルにコンソーシアム構成員として参加し、最優秀提案者として選定されました。

4月より、取次店を通して、酒田市十里塚風力発電所からのCO₂フリー電力を酒田市立小中学校に対して供給開始予定です。酒田市内で消費することで、酒田市内への経済の波及効果も期待されます。

再エネ発電所がある自治体の方、電力の地産地消に関心がある担当者のみならず、ぜひ上記の当社連絡先までお問合せください。

④ 当社が事務局となり、山形県主催、庄内町共催の勉強会『地域電源を地域脱炭素に活かす新電力の役割』が庄内町を会場に開催されました。

外部講師をお呼びし、地域電源の活用による地域経済への波及、地域新電力の存在意義等、具体的な例も交えての勉強会で、勉強会後のアンケートでは、参加された皆様は地域での脱炭素への取組の必要性を感じていただけたようです。



当社では、今後も各地で、地域の皆さまにさまざまな啓蒙をはかる勉強会を企画してまいりますので、ぜひお問合せください！

⑤ 山形市主催の『事業者向け脱炭素推進セミナー』で「脱炭素に向けたCO₂フリー電力と非FIT太陽光発電設備の活用」として講演を行いました。

他社様の講演でも、脱炭素推進の手法としてCO₂フリー電力が取り上げられ、より身近な方法に感じていただけたと思われま



『山形県樹氷復活・育成応援基金』への寄附金贈呈



当社ではこの度、地球温暖化と密接な関係がある山形の自然、環境を守るため『樹氷復活・育成応援基金』への寄附をさせていただきました。また、当社独自に

【アイスモンスター復活プロジェクト】

と題し、樹氷復活サポーター登録をはじめとした、自然・環境を守るためのさまざまな活動に参加・協力し、本広報誌やSNSで活動報告をして参ります。

山形県自家消費型太陽光発電

（第三者所有モデル）実証事業 開始

山形県内への太陽光発電設備導入の啓発と県内の脱炭素化を図るため、山形県の補助事業を活用した「自家消費型太陽光発電（PPAモデル）」を設置しました。

1) 山形環境エンジニアリング

様本社（寒河江市）屋根

11/5運転開始

◆設備出力：11.0kW

◆蓄電池：7.04kWh



2) 山形パナソニック様本社（山形市）ソーラーカーポート 2/15運転開始

◆設備出力：35.235kW

◆蓄電池：5.0kWh



運転開始セレモニーの様子

今後は、設置先の協力を得ながら、施設見学の受け入れや研修会等を開催するとともに、発電量の実績や電気料金の負担軽減効果等のデータを公表し、県内に広くPPAモデルの周知を図っていく予定です。